

## 保健 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和5年2月10日（金）5限
- 2 実施場所 11HR教室（南館2階）
- 3 H R 11HR
- 4 生徒観 積極的に発言をしたり主体的に活動をするに対して苦手意識を持っている生徒が多いが、授業には真面目に取り組むことができている。心肺蘇生法については中学校で学習している生徒もいる。
- 5 単 元 心肺蘇生法
- 6 本時の目標 ①心肺蘇生法の意義と方法を理解し、迅速に救命活動にかかわれる資質を育成する。  
②心肺蘇生法の方法を学ぶことにより、課題を解決する行動力・コミュニケーション力、主体的に取り組む姿勢、課題発見能力を育てる。

### 7 本時の展開

|              | 指 導 事 項  | 留 意 点                                  |
|--------------|--|--|
| 導入<br>(5分)   | 前回学習した応急手当にある心肺蘇生法について学習することを伝える。                              |  |
| 展開1<br>(25分) | 心肺蘇生法の意義について説明する。<br><br>心肺蘇生法の手順を説明する。<br>・胸骨圧迫<br>・気道確保と人工呼吸 | 損傷を最小限にすることが心肺蘇生法のねらいであることを理解させる。      |
| 展開2<br>(15分) | 心肺蘇生法の手順を説明する。<br>・AEDの使用                                      | 校内に設置してあるAEDの場所を確認し、いざという時に活用できるようにする。 |
| まとめ<br>(5分)  | 心肺蘇生法の手順をまとめ、実施する時には冷静さと迅速な判断が必要であることを伝える。                     |  |